

坂出聖マルチン病院

実施日	令和7年7月26日（土）	実施時間	8：30～12：00
参加人数 計 6名	小学生0名（男0名・女0名） 中学生0名（男0名・女0名） 高校生6名（男0名・女6名） その他0名（男0名・女0名）		
実施 プログラム	・挨拶、自己紹介 ・採血体験 ・救急蘇生法（心臓マッサージ、バックバブルマスク、AED） ・个人防护具、滅菌手袋装着体験 ・イーゼースライダーを使用してのストレッチャー体験 ・手術室、時間外外来見学		
実施内容	採血体験：ストローと点滴パックを連結した模擬血管でデモスト人形の両サイドから採血体験を実施しました。初めて触る注射器、針に緊張しながら検体を上手に採取出来ました。 救急蘇生法：デモスト人形を使って心臓マッサージ、バックバブルマスク、AEDの操作を順番に体験しました。「意識なし、呼吸停止状態、ナースコール」の順に確認後指導を受けながら円滑に行いました。 个人防护具、滅菌手袋装着体験：个人防护具は、2名ずつ、滅菌手袋は全員同時に体験しました。脱衣の工程は、皆スピーディーに行い、感染防止への意識の高さがわかりました。ゴーグルを付けると目の前が曇ってきたため驚きの声がありました。 イーゼースライダー移乗、移送体験：交代で患者と看護師の両方を体験しました。患者の足側を介助して、ストッパーを必ず止めることの重要性を学びました。 手術室、時間外外来の見学：普段触ることが出来ない手術室の機械、器具に触れて「これは、何に使用しますか」とペアンを指さして質問が出ました。手術室看護師からドラマ「ブラックペアン」を参考にした詳しい説明を聞くことが出来ました。無影灯に手をかざして影が出来にくい手術台に関心が高まりました。「楽しかった」と感想頂きました。		

ふれあい看護体験

2025



バックバブルマスクの操作は、
皆さんとても上手でした。
手袋装着、ナイロンエプロンの脱衣と
手袋の脱ぎ方も
1度のデモストで正確に出来てました。



手術室見学では、
機械、器材の見学がじっくり出来ました。

